

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	地域の産学官連携による環境技術開発基盤整備モデル事業		<b>担当部局庁</b>	総合環境政策局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成19年度～平成22年度		<b>担当課室</b>	環境研究技術室		環境研究技術室長 長坂 雄一			
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発					
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	「第3期科学技術基本計画」(平成18年3月閣議決定) 中央環境審議会答申「環境研究・環境技術開発の推進戦略について」(平成22年6月)					
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	地域で不足する情報交換体制及びネットワークの強化を図り、地方試験研究機関等のポテンシャルを活用した産学官連携による環境技術開発の基盤整備を図るもの。								
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	①モデル地域において、地方試験研究機関、大学、民間企業等の研究者等の人的交流を促進し、地域固有の環境問題の解決に向けた調査・研究を行うとともに、地域発の優良技術シーズを産学官で実用化する技術開発を実施。 ②①の成果や産学官連携手法を広く全国に普及するためのマニュアルを取りまとめ、シンポジウム等を開催しその普及を図る。								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	44	41	41	0			
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	44	41	41	0			
	執行額		44	41	41				
執行率 (%)		100	100	100					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	地方環境研究所を中心とした産学官連携の方策について、モデル事業の成果を踏まえた提言を行うことが目標であり、定量的な成果目標を示すことはできない。			成果実績					
				達成度	%				
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	成果普及のためのシンポジウム等開催			活動実績 (当初見込み)	回	2	2	4 (4)	— (事業終了)
				活動実績 (当初見込み)	地域	4	4	3 (3)	— (事業終了)
	事業を実施したモデル地域の数								
<b>単位当たり コスト</b>	4,350,064(円/1地域)			算出根拠	単位当たりコスト(1モデル地域での事業コスト) =モデル地域での事業費/モデル地域数 =13,050,192円/3地域 =4,350,064円/1地域				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	22年度で事業終了								
	計								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業は期待どおりの成果を上げ、平成22年度に事業を終了した。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	当初の目的を達成したため、事業終了。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度限りで廃止とする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

環境省  
41百万円

{ ・事業全体の管理 }



【企画競争・委託】

A. 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)  
41百万円

{ ・モデル事業の総合管理  
・報告書作成  
・シンポジウム開催 }



【委託】

B. 地方環境研究所、大学、民間企業等  
(10機関)  
14百万円

{ ・モデル事業実施 }

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	シンポジウム企画・運営等	21			
再委託費	モデル事業実施	13			
業務費	会場借上料等	3			
一般管理費		2			
消費税		2			
計		41	計		0
B.三幸毛糸紡績(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	建築材料の開発に関する検討	3.4			
一般管理費		0.5			
業務費	接着剤等消耗品等	0.2			
計		4.2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	モデル事業の総合管理等	41	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三幸毛糸紡績(株)	建築材料の開発等	4.2	随意契約	—
2	鳥取大学	セルロース、ヘミセルロース構成糖の一段階でのアルコール発酵プロセスの開発	2.6	随意契約	—
3	鳥取県衛生環境研究所	廃菌床の処理実態調査と糖化技術の開発	1.9	随意契約	—
4	(社)大阪府木材連合	スギパネルの施工方法の検討	1.8	随意契約	—
5	大阪環境農林水産総合研究所	クールスポット(河川護岸壁、道路沿道)の創出	1.1	随意契約	—
6	愛知県環境調査センター	建築材料の音響性能試験方法の改良等	0.5	随意契約	—
7	日南振興(株)	廃菌床の排出実態調査、成分調査、実用化検討	0.4	随意契約	—
8	京都大学	スギ木口外構材の腐食防止に関する研究	0.3	随意契約	—
9	愛知工業大学	材料の加工・利用方法の検討、性能試験及び検討	0.2	随意契約	—
10	(株)エムズプラン	廃菌床の排出実態調査、成分調査、実用化検討	0.1	随意契約	—